関 中 学 校 だ よ り

第８号　令和５年１月27日
ホームページアドレス http://www.seki-j.nerima-tky.ed.jp/

対話の大切さについて　～自分の考えを伝え互いの気心を知る～

校長　大澤　秀吉

３学期が始まりました。今日は、対話の大切さについて話をします。

自分の考えを言葉として伝えること、人と話をすること大切だと言われます。何故大切なのでしょうか？　対話を繰り返していると、その人が物事に関して、どのような考え方をしているのか自然と伝わります。また、何が得意で、何が苦手なのかも伝わっていきます（もちろん、得手不得手の話をしないと伝わりません）。そのような関係ができてくると、それぞれの得意分野を活かしながらお互いの苦手な部分を助け合う環境ができ上がります。皆さんは、これまでの学校行事でもう経験されていることと思います。

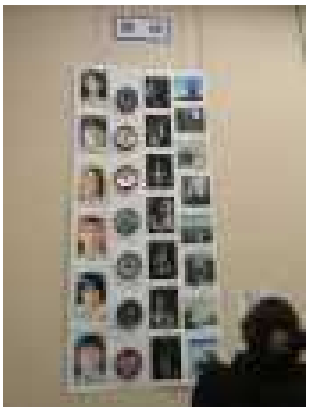
だからこそ、自分の考えを言葉で伝えることが大切なのです。黙っていては伝わりません。周りの人は超能力者ではありません。また、上に上がるに従って、「どうしたのの？～と考えているの？」などと聞いてくれることは無くなってきます。自ら伝えようとしなければ伝わりません。これは大人も子供も同じです。生徒が先生（先生が生徒）に伝える時、みなさんが家の人（家の人がみなさん）に伝える時、「わかってくれるはず、前に言ったから覚えていてくれるはず」などと考えずにしっかりとその都度伝えるようにしてください。新たな年の始まりとして一人一人が相手に伝えること、お互いの気心を知り、お互いに助け合う、個々の考えを気軽に述べられより良くしていける関係をつくるために対話を始めてみてください。

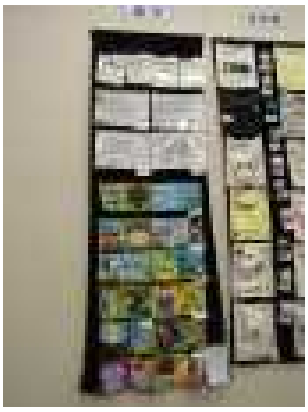
【校長講話に一部加筆】

【関中生の活躍】

令和4年度　練馬区中学校生徒作品展

練馬区立美術館において1月14日（土）～18日（水）の期間練馬区立中学校の生徒作品が展示されました。本校からも、美術科、技術科、家庭科より力作が出展されました。





第72回　東京都公立学校美術展覧会

［開催場所　東京都美術館　　開催期間　令和5年2月14日（火）～2月19日（日）］

練馬区中学校生徒作品展に出品された作品のうち、次の6名の生徒作品が東京都美術展覧会に推薦されました。

美術科　　3年　HA さん　　3年　MS さん

技術科　　3年　HK さん　　2年　TS さん

家庭科　　3年　YM さん　　3年　WH さん

第57回　練馬区立中学校連合ダンス発表会　［会場　練馬区立光が丘体育館］

1月24日（火）練馬区立中学校連合ダンス発表会が行われました。本校からは、1年Ｂ組の生徒が代表として参加しました。

【関中生のうれしいはなし】 保護者の方からのすてきな関中生の情報

地域の方がウォーキング中に、ある公園の前を通りかかりました。

その公園では、小学生が 10 名ほど遊んでいました。

どうやら公園には、自転車で遊びに来ていたらしく、道路にはみ出るほど自転車が放置されていました。車の往来にも影響がありそうなので地域の方が小学生に注意しようとしたところ、そこを通りかかった4～5 人の関中生のうちの１人が「おーい、自転車片付けろー、邪魔になっているぞー」と、公園に向かって声をかけたそうです。

すると、小学生たちは「はーい」と言いながら、自転車を脇に移動させたそうです。

その言動に感動した地域の方は、情報提供された保護者の方と話をしたそうです。

もしかしたら、その注意した中学生も小さいころに、同じように注意されたのかもしれない。

いい連鎖になるといいねと話をされたそうです。

いい話を知らせていただいたので、学校だよりに載せました。

自分とは関係無いとする人たちが増えている中で、この地域のより良い人間関係を大切に紡いでいけたらと思いました。

地域や周囲から大切にされた経験がある人は、次の世代の人たちを大切にする。

恩返しではなく恩送りの心づくりが大切と感じました。